

本日(H15/1/11)網走において、流氷観測初日である。連日の真冬日、最低気温も20度近い日々が続いているが、管内の湖も結氷しつつある。さて、司令部2部地誌班に、管内の湖の数や特色について調べて貰った。

国土地理院発行の地形図5万分の1の地図に記載されている湖は、トータルで41個にのぼる。但し、知床五湖や津別五湖を夫々ひとつの湖としてカウントしている。

このデータ等を参考にして、幾つかのことを皆さんに紹介しよう。

① 全面結氷の有無等

北海道の湖で全面結氷しないのは、支笏湖が最も有名であるが、管内でも殆どが結氷するが、阿寒国立公園の摩周湖と標茶町のシラルトロ湖は一部結氷しなかったり、困難である。因みに結氷した氷の厚さは、

湖名	氷厚(平均、cm)	資料源
糠平湖	60~90	上士幌町役場
然別湖	80~100	鹿追町役場
長節湖	約60	豊頃町役場
阿寒湖	70~80	阿寒町役場
摩周湖	30~70	弟子屈町役場
塘路湖	50~60	漁業組合
達古武湖	30~50	釣り人
風連湖	50~60	根室市役所
網走湖	50~60	網走観光協会
サロマ湖	40~70	常呂町養殖組合

注1:氷の厚さは、気象状況によって大きく異なる。

注2:摩周湖は結氷しない年もある。

同じ湖でも厚さが一定ではない。一般的には、岸よりも、湖の中央部が薄い、また、水は温水の湧出している湖底もあり、そのようなところは当然の事ながら薄い。人間が通過するには10cmの厚さがあればOKだが、薄い所もあるので要注意だ。因みに、トラック等は30数cm以上の厚みがあれば大丈夫だ。レッカー車は、重レッカーでも45cm以上。自衛隊の戦車は通行可能かという理論上は可能である。接地圧が比較的小さいので、74式TKの場合は、1mもあれば大丈夫のようだ。問題は、氷上に如何にスムーズに、一点に荷重が集中することなくのせるかだ。いずれにしても、師団司令部の戦車兵は嫌がっているが・・・

② 北海道3大秘湖の集中する師団管内

何を以て「秘湖」とするかの問題はあるが、通例的に3大秘湖と謂われているのは、支笏湖北西の「オコタンペ湖」、襟裳岬に程近い豊似岳山麓の「豊似湖」を含む管内の次の3つの湖の中から選ばれている。

- a 東雲湖：上士幌町：生きた化石ナキウサギの生息地として有名（残念乍発見出来なかった）
- b チミケツブ湖：津別町：ヒメマスノ原種が生息していた。
- c オンネトー：足寄町：紅葉の時期“炎の湖”マンガンを含む水がラワン露を大きくした？

* 羅臼湖も秘湖の条件にピッタシとの評もある。

③ 成因別の特徴

十勝も根釧もかつては、大半が海洋であった為であろうか、「海跡湖」が、15個と多く、次いで、東大雪、阿寒山系の湖に見られる「堰止め湖」(ダム湖含む)が、11個である。管内で著名な湖である摩周湖、屈斜路湖、阿寒湖はカルデラ湖であり、同類のものは他に2個(羅臼湖、藻琴湖)ある。珍しいのが阿寒町にあるパンケトーとペンケトーで、この両湖は断層湖と言われている。他の小さい湖は資料なし。

④ 透明度世界一の座は安泰か、摩周湖

昭和6年のデータでは、41.6mを記録し、バイカル湖(40.5m)を凌ぎ世界一といわれたが、近年は30m以下とも。尚、第3位は、北米大陸のタホ湖である。然しながら、バイカル湖のデータも大正元年のものであり、周辺が開発が進んでいることもあり、摩周湖の透明度は、低下したとはいえ、未だに世界一だろうと推定されている。最新の透明度は、2001.8.30に実施された調査で23.7mであった。流入する河川はないのに何故透明度が低下するのだろうか。プランクトンが僅かに増えただけでも透明度は急激に低下するとも言われており、北海道遺産にも登録された摩周湖の自然を大事にする試みが為されつつある。

また、摩周湖は、霧に覆われること多く、神秘の湖の名を忝にしている。

⑤ 最多湖沼保有町村

管内49市町村のうち、湖が最も多くあるのは、阿寒町の6個であり、次いで網走市の5個である。

⑥ 御神渡りのみられる湖

御神渡りといえば、長野の諏訪湖のそれが余りにも有名であるが、この朔東の地でもそれは見られるのである。端的に言えば、結氷した湖面に生じる氷提即ち氷の堤である。御神渡り現象は次のようにして起きると考えられる。全面結氷後に夜間の寒気の為、割れ目が生じ、そこへ下の水が登って結氷する。朝になり、気温が上がって膨張する時、両側から圧縮されて割れ目沿いに氷が持ち上げられる。その際にはバリバリと大きな音を発する。御神渡りの造形美は、見た者をして感嘆せしめずにはおかない。朔東地域では、屈斜路湖、摩周湖、塘路湖等で御神渡りが見られる。中でも、屈斜路湖の御神渡りは、長さが10キロメートル、高さが2メートルにも及ぶことがあり、その規模において日本一と称しても過言ではない。流水でも御神渡り現象は起きる。(以上は朔東から第49号に記載済み)

⑦ 入水自殺者の発見が困難な湖

秘湖の内、チミケップ湖とオンネトーは、その位置も奥深い所にあるので発見され難く、且又湖底状況の関係もあり、入水自殺した者がなかなか浮かんでこないとも言われている。それでは死んでも浮かばれまい。

以下特徴のある湖の紹介しよう。

- ① 然別湖：道天然記念物のオショロコマ、氷結湖上の然別湖コタン(平成 15 年の開村式は、1 月 25 日であるが、残念ながら演習中に付き氷上露天風呂に入浴出来ぬ。)
- ② 糠平湖：人造湖道第二位、旧土幌線のアーチ橋は北海道遺産に指定
- ③ 塘路湖：釧路湿原最大の湖、湿原のカヌー下りのスタート地点、御神渡りも見られる
- ④ 屈斜路湖：カルデラ湖日本第二位、湖畔の砂湯が有名
- ⑤ シュンクシタカラ湖：北海道最後の秘湖？ミニ層雲峡と地元では
- ⑥ 風連湖：国内最大の白鳥の飛来地
- ⑦ 能取湖：日本一の珊瑚草群生地、潮干狩りで有名
- ⑧ 知床 5 湖：秘境、流入、流出の河川なし。伏流水となり、断崖絶壁から落下し滝を形成
- ⑨ サロマ湖：道内第一位、日本第 3 位の大きさ。原生花園、ホタテ、ウルトラマラソン
- ⑩ 漁に適している湖：判断基準が難しいので省略
- ⑪ 駒止湖：木々の中にひっそりと佇む青色の湖、神秘的、鹿追町長の言によれば、ナキウサギを撮影する人が多数とか。
- ⑫ 厚岸湖：カキの養殖で有名、西部の牡蠣島は天然の牡蠣殻が堆積、塩生植物の厚岸草は、俗称サンゴ草とも呼ばれる。コシロウ海燕の繁殖地としては日本唯一
- ⑬ 長節湖：原生花園、夏のレジャー盛ん、海水浴も可
- ⑭ 阿寒湖：マリモ。冬季アウトドアのレジャー盛ん。

(参考：師団司令部 2 部資料、各種HP、百科事典、聞き取り調査 etc)